

令和6年度 第6回 草津市社会福祉施設指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和6年12月10日(火)	開催時間	午後13時30分から 午後15時45分
出席者	委員3名、施設担当職員3名、事務局4名、申請者		
傍聴者	8名		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めることについて 「草津市立なごみの郷」の指定管理者の候補者の選定		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員・事務局の紹介</li> <li>3 委員長および副委員長の選出</li> <li>4 「草津市立なごみの郷」の指定管理者の候補者の選定【公募】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課より施設概要等説明</li> <li>・申請者プレゼンテーション</li> <li>・質疑応答</li> <li>・審査・採決（非公開）</li> </ul> </li> <li>5 事務連絡</li> <li>6 閉会</li> </ol>			

◆令和7年3月31日で指定期間満了を迎える「草津市立なごみの郷」において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

## 1 担当課説明

施設概要や評価のポイント等について説明

## 2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

◆リンクワークス・菱サ・ビルウェア共同事業体（以下「共同体」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委員>：当該施設は利用者の年齢層がかなり高いが、事故やトラブル等の対応についてはどのように考えているか。

<共同体>：入浴時の事故としては、転倒や心筋梗塞、脳梗塞等が多い。まず予防が大切だと考えており、転倒については、日常の管理の中で躓きが起こらないように努める。また、高齢者入浴アドバイザーという資格をスタッフ全員が取得しており、知識を生かしながら声掛け等に取り組んでいる。一方で、いくら予防に取り組んでいても事故が起こることはあり、起こったときの金銭面の補償についてはしっかりと保険に加入している。また、認知機能の低下によりお風呂で便をされてしまうこともあるが、すぐにお湯を抜き、一時停止をしてでも衛生面をしっかりと確保するなど、高齢者中心の施設としての特性を把握し、取り組んでいきたいと考えている。

<委員>：管理栄養士については、新規雇用なのか。提供される食事は高齢者向けのものなのか。

<共同体>：現場に配属される管理栄養士は新規雇用である。高齢者に合わせた食事についても準備する予定であるが、現在は利用が少ないと聞いており、施設内通貨を使える場所とすることで、まずは利用者の増加につなげていきたいと考えている。

<委員>：自主事業等、利用者が納得して利用料をお支払いいただけるサービスを提供する、とあるが、これは主にこども向けのプログラムであるのか。

<共同体>：基本的には高齢者であり、あくまでもこどもは多世代の関わりを生むためのひとつの取組である。高齢者の利用を増やすことに重点を置いている。

<委員>：収支について、経費の中で最も厳しい項目は何か。

<共同体>：人件費と光熱水費である。人件費は上昇傾向にあることに加え、光熱水費の単価はコントロールができず、上がっていくことで経費の割合が増えてしまう。それらに対応する工夫が民間のノウハウであると考えている。

<委員>：各種講座について、対象年齢が50歳以上や65歳以上となっており、施設の利用は超高齢者もおられると思うが、対象年齢の設定についてはどのように考えているのか。

<共同体>：我々は民間のフィットネスクラブも運営しており、最近ではフィットネスクラブの利用者についても高齢化傾向にあるが、例えば、チラシには、年齢層が若い人の写真を使用した方が高齢者に来ていただける傾向にもある。高齢者だからとこちらが括ってしまうことで逆に活動の幅を狭くしてしまっているのではないかという思いがあり、この年齢設定としている。安全確保含め、これらの工夫が民間のノウハ

ウであると考えている。

◆株式会社サンアメニティ大阪（以下「サンアメニティ」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委員>：巡回バスについて、自社運営ではコスト高になるのではないか。

<サンアメニティ>：現在の指定管理者はタクシー会社へ運営を委託し、コストがかなりかかっていると聞いており、車をリースして自社で運営した方がコストを削減できると判断した。

<委員>：多世代交流を柱に掲げておられ、50～60代の人にとって魅力のあるものを期待しているが、何か考えはあるか。

<サンアメニティ>：ロクハ荘で行っている「手ぶらでお風呂」事業のような、ふらっと寄れるような仕組みづくりや、親子での料理教室、陶芸教室等を計画している。

<委員>：職員配置についてであるが、正職員や契約職員の考え方について教えてほしい。

<サンアメニティ>：主要職員として、責任者、副責任者、経理担当、自主事業担当の4名を予定している。これらは、正職員という形式ではなく、週20時間以上の勤務であると社会保険へ加入する必要があることなどから、正職員相当と記載している。

また、軽食コーナーやお風呂の受付等はパート中心の雇用を考えている。

<委員>：人員体制について、1日当たりの臨時職員相当が5名というのは理解したが、もう少し具体的に教えてほしい。

<サンアメニティ>：臨時職員は館内清掃と受付担当が2名、軽食コーナーが2名、巡回バスの運転手が1名である。

### 3 採決

各委員による採点の結果、いずれの団体も最低基準点を上回っており、その中で最も高い得点を得た「リンクワークス・菱サ・ビルウェア共同事業体」を指定管理者の候補者とし、その次に得点の高い「株式会社サンアメニティ大阪」を次点候補者とするのが適当であるとの結論に至った。